

# バリ島幼児教育海外研修 報告

## ～3日目 マリンスポーツとショッピング～

小澤 俊太郎  
(こども学科 助教)

### 1. BMRでマリンスポーツ

8:30にホテルを出発し、マリンスポーツタンジュ

ングノア (BMR) へと向かった。この場所は昨年のバリ島研修旅行でも行った場所である。



多くのマリンスポーツが用意されており、パラセーリングやバナナボート、シュノーケリングなどおよそ20種類ほどのマリンスポーツを体験することができるスポットである。値段は高いものは日本円で10,000円、そのほかは大体5,000円程である。1種目の時間は20分～30分程度で設定されているため、午前中だけでも2～4種類のマリンスポーツを楽しむことができる。

学生たちはたくさんあるマリンスポーツの中から自分のやりたい種目をお財布と相談しながら、数種類選んだ。

筆者はシーウォーカーという、顔を濡らさずに海の中に潜ることのできるアクティビティを体験した。Go pro (水中でも撮影できるカメラ) とビニール袋に入ったパンを渡され、ボートに乗り、沖の方

へと向かった。ボートから他の船へと移り、その船から海へと入り、海中へと潜っていく。海の中に潜ると、海中には手すりや道が整備されており、名前の通り海の中を歩いていく感じであった。頭からかぶる大きなヘルメットのようなものの中に常に酸素が送られてくる構造になっており、これ自体が重りの役目にもなり、沈んでいられる。色鮮やかなイソギンチャクの間からは綺麗な魚がたくさん泳いでいた。

途中で、パンの袋を破るようという指示がダイバーの人からあり、それに従った。すると、パンを目指してさらにたくさんの魚が寄ってきた。自分の周りを魚が囲むような状況になり、そこでダイバーがGo proを用いて写真撮影や、動画撮影をしてくれた。



およそ15分くらいのコースをゆったりと歩き、アクティビティが終了した。終了後はまたボートに乗り込み、ビーチへと戻った。

ビーチに潜ると撮ってくれた写真と動画を見せてもらい、データを買うか買わないかを選ぶことが



できる。せっかくの機会なので、データも購入した。

他の学生たちも、さまざまなアクティビティを体験し、全体でおよそ2時間半、マリンスポーツを満喫し、BMRマリンスポーツを後にした。



## 2. マクドナルドで昼食

その後、昼食をマクドナルドでとった。バリ島のマクドナルドで一番驚いたのは、ライスのメニューがあること。定番のハンバーガーに加えて、チキンなどがご飯に乗っているメニューもあり、バリ島でしか食べられないメニューを食べることができた。

全体的にスパイシーなメニューが多かったのも日本との違いであった。

また、日本ではマクドナルドは比較的安く食事ができ、学生がよく行くイメージがあるが、バリ島の学生からすると高いという印象があるようであま

り行かないとのことだった。アイスはたまに食べにくるらしいが、食事をマクドナルドで食べることは稀のようであった。

確かに、街中のいたるところにあるローカルレストランや、ワルン（屋台）があり、そこでは100円～300円くらいで十分食事をとることができる。それに対してマクドナルドは日本で買う値段とほぼ同じ値段設定で500～700円ほどだった。そのため、あまりバリ島の方たちが行かないのも納得である。



## 3. カリフルでショッピング

昼食を終えて、次はショッピングのためにデンパサール市内へと向かった。カリフルというショッピングモールに行った。とても大きなショッピングモールで、レストランや有名ブランドのお店、大きなスーパーなど一日いても飽きないくらい大きな施設であった。

1時間半の時間を取り、学生たちはお土産を買っ

たり、お店に入ったり楽しんだ様子であった。

ショッピング終了後はホテルに戻り、この日の日程は終了となった。

